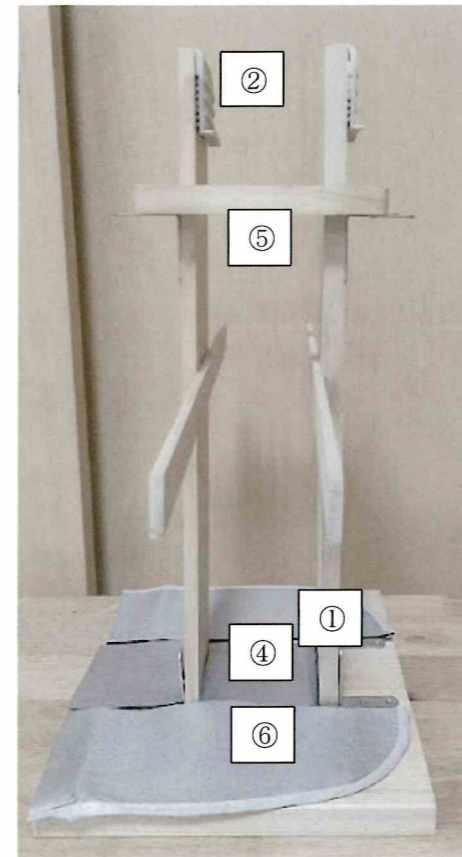


第 62 回富山県発明とくふう展 内容説明書 (令和 6 年度)

受付番号 **319** 学校No. **177**

ふりがな	たや かいり	学校名	小矢部市立大谷小学校
氏 名	田屋 権俐	学 年	3 年生
ふりがな	りょうてつか	だい	
作品の名称	両手使えるらくらくドライヤー台		
(特 徴)	お母さんが髪を乾かす時、両手を使えるといいなと言っていたので、ドライヤーを置ける台を作りました。		
	これを使うと、両手を使えるようになるので、髪を早く乾かせます。		
	また、髪を乾かしながら、リモコンやスマホの操作など、他の事もできます。		
(使い方)	ドライヤーとコードを図のように通して、いつも通り使います。		
◇ 作品を作った動機や参考にしたものがあれば、下記 () の中に○印をつけて下さい。			
① () テレビ、科学雑誌、参考図書など			
② () 発明くふう展、科学館、大学祭、各種のイベントから			
③ (○) 講師や先生、両親などからヒントをもらった			
④ (○) 発明クラブ、理科の学習、各種工作教室から			
⑤ (○) その他、自分で考えた			

略図 (鉛筆書きでもよい) 又は写真を貼り付けて作品の特徴を説明して下さい。
(※審査用にコピー (縮小) しますので、濃く見やすく作成してください。)



特徴① 柱
最初は丸い金具に 1 本の棒で作っていましたが、よく動いて不安定だったので、ドライヤーの重さに耐えられるよう、材料を 2 本の板 (横幅 9 cm) にし L 字金具でしっかり固定しました。

特徴② ドライヤーの置き場所
熱さに強く、落ちにくくなるように、耐熱のシリコン素材の鍋つかみを大きさに合わせて切りました。

特徴③ 使いやすさ
くしやタオルなどが置けるように、横に棒を付けました。

特徴④ 土台
同じ板を 3 枚使い、バランス良くなるようにしました。

特徴⑤ ドライヤーが落ちる場合
もしドライヤーが落ちると、⑤でひっかかるようにし、さらに落ちる場合、⑥のアイロン用の布の上で落ちて、ドライヤーが壊れにくいように工夫しました。

檜を一部に使ったので、少しだけ良い匂いがします。



【記載注意事項】

- この説明書は、審査用、展示用カードとして用いられますので必ずご記入下さい。
- 従来のもの (方法) と比べて、どこを (何を) どのようにくふうしたか、要点をわかりやすく、図または写真でご説明下さい。
- 改良くふう箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。
- この内容説明書は出品申込書と一緒に一覧表を添えて、令和 6 年 9 月 1 8 日 (水) までに事務局へ提出して下さい。